
Un Baked Lunch

かみなせ しゅら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Un Baked Lunch

【ZPDF】

N1495Z

【作者名】

かみなせ しゅら

【あらすじ】

The Naked Lunch (邦題・裸のランチ) を著された、聖バローズ様、御慕い申し上げます。

恥は何。美徳か。何、まだ知らない彼にそんな汚れが関係あるものか。それは美徳ではなく、汚れ。それを纏つた目でこっちを見るな。はいぼくは目を隠します。

“生硬”；

その時、彼女はシーツの上に仰向けに踞りを込めて吐息を遠くに聞かす。

あまり笑顔は見えず、時々、微笑。色が白くては、服、王妃様みたい。

寝そべつた彼女のつちふまでは彼女にとつて右に傾いて、側臥、

僕は温もりのシーツを讃める。

そして彼女のつちふまでは僕にとつて右に傾いて、遠回しのキス。

"r a w"i

?

#

学校。教室と階段の間、非常口へと続く、廊下から少し、奥までた場所。無造作に置かれた書架の影、彼女の唇は頬に感触を残して。

「どうして『じゃない』の『もうがない』の? 、 そう、 それは、
また、 今度ね」

彼女には他に付き合っている人がいて。彼は僕の友達で、彼もその場所に行きます。輪郭のない三角。

「私の他に好きな人いる?」 「いるよ」 「だれ?」 「...さん」 「私はどうが好き?」 「あなたがいちばん」 「そつ。」

#

学校。背が少し高くて痩せてちょっと肌は焼けてる。背は低くて痩せてる。なぜ。

何色のスカート、黒のタイツ。濡れてる。

「あの子も、そう 淡い青のジーンズ。椅子に置かれたクッショ
ンの。

ンの。

僕の手を持つて？

一人の女の子は笑顔で何かを話す。金縛り。

"rare"

?

* : * : - - - - * : * : - - - - * : * : - - - -

* : * : - - - - * : * : - - - - * : * : - - - -

#

「たくましくなつたわ」 時々、彼女はこう言いました。
ただ全てが綺麗な容姿。例えば神話。肌は眩しく白。極端に。笑

顔。

彼女は毎朝、声をかけました、だから、恥ずかしくて、止めてほしいと僕は言いました。

「どうして？嫌なの？」 「嬉しくないの？」 「そんなこと。」 「指が細くて白かった。、、、なに？」

#

「どつちがかわいい？」

「え？」

二人は顔、頬を指で突く「柔らかい」
そんな。ぬいぐるみ。人は?????

#

眼鏡をかけて、少し焼けてる肌。物静か。微笑。好き。名前の漢

字、間違えて、それ違う、と怒られて、それだけ怖かった。

この人だけ、忘れてしまったのに気づく。

- . * : . - - - . * : . * : - - - . * : . * . - -

- . * : . - - - . * : . * : - - - . * : . * . - -

- . * : . - - - . * : . * : - - - . * : . * . - -

- . * : . - - - . * : . * : - - - . * : . * . - -

- . * : . - - - . * : . * : - - - . * : . * . - -

- . * : . - - - . * : . * : - - - . * : . * . - -

- . * : . - - - . * : . * : - - - . * : . * . - -

"baked?"

?

白痴の人。

「一ちゃんの皿一輝いてるー」

ある日。

僕はミンナと同じに、彼女を嘲笑つて

「一ちゃんまで！ 酷い！」

僕は、とても悪い。悪い。

#

彼女。「実は、好き」

「いいえ。」

言つてござつては、

僕。「好き」

「え？」

え？」

、、あ違いました今今氣がつきましたからどうか忘れなさい自分を見失つてて）

夢知。

? " The Naked Lunch " "

無視。

?
”
b
u
r
n
t
”

未知。

?
”
b
a
k
i
n
g
”

•
•
•
•
•
•

• • • • •

?

すみません。何のことはない幼稚園からなんて！笑う、U n - B
a k e d - L u n c h 年代順です。最近のが無いのは、つまり。
鮮度。文字数。恥さらし。ため次第に衰えること。だんだん、しだ
いに、明確化は怖いななな、と思つこと、本当はそんなこと思つ
てないから、嘘です思つてますごまかそうと迷路に逃避を謀る、明
確はすごくこわい、はいぼくはしたのです未知に迷つて君から逃げ
ること。最初から敗北してたのですよ！最初から負けてたのです。
そういう、卑屈なので、だんだん、だんだん、だんだん、だんだんんんん、
嫌い嫌い汚れに18年間自らに汚染され続けて恥ずかしくて恥ずか
しくてこの田を棄てたい！！棄てたい！！汚れ！

恥を知れ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1495z/>

Un Baked Lunch

2011年12月5日10時49分発行